

■スポーツで日本を元気に！

朝原宣治 氏

元陸上競技選手(北京オリンピック銅メダリスト)、

スポーツ解説者・指導者

■総合型地域スポーツクラブの自主自立と創造的活動への新たな挑戦

川西正志 氏

鹿屋体育大学 教授

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 委員

■総合型地域スポーツクラブの原点

黒須 充 氏

福島大学人間発達文化学類 教授

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 副委員長

■総合型地域スポーツクラブ関係者の皆様へ

佐藤弘道 氏

タレント・体操インストラクター

■スポーツを通じた日本の発展へ

間野義之 氏

早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 委員

日体協指導者育成専門委員会 委員

マネジメント資格部会 部会長

■楽しいことをたくさん企画して実行してみよう！

宮嶋泰子 氏

テレビ朝日アナウンサー

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 委員

■こんな所にゲルマン魂あり

山本 浩 氏

法政大学スポーツ健康学部 教授

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 委員

■クラブは「心のよりどころ」になれる

ヨーコ ゼッターランド氏

元バレーボール選手

スポーツキャスター、日体協 理事

日体協地域スポーツクラブ育成専門委員会 委員

▼詳細はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.5_feat.message.pdf

【2】スポーツ立国戦略、スポーツ基本法、スポーツ基本計画の流れと違い



◆平成 24 年 3 月に、「スポーツ基本計画」が策定されました。
その前には「スポーツ立国戦略」の策定、「スポーツ基本法」
の制定があり、これらの流れや違いは、以下の通りです。

◆「スポーツ立国戦略」…平成 22 年 8 月 26 日策定
今後の我が国のスポーツ政策の基本的方向性を示す戦略で、
「スポーツ基本法」の整備を提言したものです。

▼「スポーツ立国戦略」の概要、詳細はこちらから
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm

◆「スポーツ基本法」…平成 23 年 6 月 24 日公布
スポーツに関する基本理念を定め、国・地方公共団体の責務、
スポーツ団体の努力などを明らかにして、スポーツに関する施策の
基本となる事項を定めたものです。

▼「スポーツ基本法」の詳細、リーフレットはこちらから
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/

◆「スポーツ基本計画」…平成 24 年 3 月 30 日策定
上記、スポーツ基本法の理念を具体化し、国のスポーツ施策の
具体的な方向性を示し、関係者が一体となって施策推進していくため
の重要な指針として位置付けられるものです。

▼「スポーツ基本計画」の全体、概要等はこちらから
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm

【3】東日本大震災被災地 応援情報

被災地クラブの活動状況と復興へ向けて(岩手県:前編)

～岩手県沿岸市町村にある総合型クラブのこの1年～



■東日本大震災から1年が過ぎました。震災前の生活から一変した被災地では、今も大変な状況が続いています。

被害が特にひどかった東北3県の1つ、岩手県の状況を、クラブ育成アドバイザーの伊藤啓太さんに、前編(5月)、後編(6月)で報告していただきます。

前編では、岩手県の沿岸市町村にある8つのクラブの被害状況や、震災後の1年余りの活動状況がテーマです。

ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.5.iwate.pdf>

【4】助成金情報(申込締切6月29日までのもの)

▼赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

<第8次>(6月29日まで)

<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

【5】メールマガジン次号の予告

<特集>「スポーツ少年団」の理念・システム(仮題)

<連載>若手クラブ仕事人の夢メッセージ

わがクラブの人気プログラム、東日本大震災被災地応援情報

■発行予定日：6月20日(水)

★お知らせ★

●平成 24 年度クラブマネジメント指導者海外研修事業 参加者募集について

日本体育協会では、総合型地域スポーツクラブにおいて活動するクラブマネジャー等の資質向上と活動促進を図ることを目的として、地域スポーツクラブ先進国であるドイツ連邦共和国に日体協公認クラブマネジャー・アシスタントマネジャーを派遣するクラブマネジメント指導者海外研修事業を実施します。

派遣団員は、各都道府県体育(スポーツ)協会による推薦が必要となりますので、参加をご希望の方はお住まいの各都道府県体育(スポーツ)協会へお問い合わせください。

派遣期日：平成 24 年 10 月 16 日(火)～22 日(月)(5 泊 7 日)

派遣先：ドイツ連邦共和国 ノルトライン・ヴェストファーレン州

主な派遣要件：

- ①日体協公認クラブマネジャー・アシスタントマネジャー
- ②都道府県体育(スポーツ)協会からの推薦
- ③参加個人負担：18 万円

※希望者多数の場合、日体協にて派遣団員の選考を行います。

なお、都道府県体育(スポーツ)協会からの日体協への推薦×切日は来る 6 月 1 日(金)となっています。

▼都道府県体育(スポーツ)協会の一覧はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/member/tabid/565/Default.aspx#02>

.....
.....
●日本スポーツ少年団創設 50 周年記念寄付金募集について

(平成 24 年 12 月 31 日まで)

日本スポーツ少年団は、1962(昭和 37)年 6 月 23 日に日本体育協会創立 50 周年記念事業の一環として創設されて以来、「スポーツによる青少年の健全育成」を活動の理念に掲げ、全国の多くの関係者に支えられながら、半世紀にわたり青少年のスポーツ振興に尽力し、2012(平成 24)年に創設 50 周年を迎えます。

この創設 50 周年を契機に、全国の多くの関係者とともにその慶事を祝するとともに、これまでのスポーツ少年団の歴史をたどり、後世にスポーツ少年団の理念を継承し、これからのスポーツ少年団発展に資するための記念事業の実施に伴い、寄付金を募集いたします。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/club/news/tabid/83/Default.aspx?itemid=2416>

.....
.....

●情報誌「Sports Japan」創刊号を発行しました!!

日本体育協会は、これまでの本会公認スポーツ指導者等を対象とした情報誌「スポーツジャーナル」とスポーツ少年団関係者を対象とした情報誌「Sport JUST」を統合し、平成 24 年度より装いを新たに「Sports Japan」として発行しました。

本誌は年間 6 回のほか 2 回の特別号を発行し、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ指導者、スポーツ少年団をはじめとするスポーツ関係者の皆様はもとより、様々なスポーツ愛好者にとりましても有益でタイムリーな身近な情報の発信に努めてまいります。本誌の購読を希望される方は、下記によりお申し込みください。

▼オンライン申込はこちらから

<https://jasacm.japan-sports.or.jp/cms/form/event.php?eid=202>

▼詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/publish///tabid/661/pdid/105/Default.aspx>

.....
.....
●「2012 JAPAN ATHLETE FORUM in OSAKA」の開催(6月4日)

日本を代表するアスリートが集結し、日本を元気にするための意見交換や、アスリートの活動の方向性を見出す目的のフォーラムが開催されます。

総合型地域スポーツクラブでも、トップアスリート・チームと連携して求心力や魅力を創出しようとするクラブが増えてきました。

王貞治氏ほか豪華な顔ぶれによるディスカッションはもちろん、ソーシャル・ビジネス、教育ビジネス、アスリートのキャリア形成など、クラブにも役立つ視点が盛りだくさんです。

日時:平成24年6月4日(月)13:00~21:00

場所:大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

申込み:締切延長で、5月25日(金)まで。お申込みはお早目に!

▼詳細とお申込みはこちらから

<http://www.jathlete.jp/news/pdf/JAFinOsaka-application-20120604.pdf>

.....
.....
●スポーツ経営・政策フォーラム「スポーツ界における好循環の創出—その理念と課題」開催(6月23日)

アスリートが引退後、地域に戻って再び活躍するという「好循環」を実現するために、文科省は「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を開始し、現在全国で46の総合型地域スポーツクラブが拠点クラブの委託先として選定を受けています。

この「好循環」推進事業をめぐる課題や可能性について議論します。

日時:平成 24 年 6 月 23 日(土)14:00~17:00

場所:早稲田大学 早稲田キャンパス 14 号館 403 号教室(西早稲田)

内容:

(1)キーノート・スピーチ

「アスリートが主体的に参画する好循環推進プロジェクト
の実現に向けて」朝原宣治氏(北京オリンピック銅メダリスト)

(2)パネルディスカッション

「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」の課題
森岡裕策氏(文科省)、高橋義雄氏(筑波大学)、榊原孝彦氏
(NPO 法人ソシオ成岩スポーツクラブ)、朝原宣治氏(元陸上競技選手)
<コーディネーター>間野義之氏(早稲田大学)

▼詳細とお申込みはこちらから

<http://www.jsmpes.jp/pdf/forum/44forum.pdf>

.....
.....
●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

～ フェアプレイで日本を元気に！ ～キャンペーン

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを開始し、専用 WEB サイトを公開しています。

おかげさまで本会加盟団体や総合型クラブ関係者・全国の指導者・少年団関係者をはじめ多くの共感の声をいただいております。専用 WEB サイト公開 9 ヶ月で「フェアプレイ宣言者」が 3,200 名を超えており、これもひとえに多くの皆様よりご協力をいただいたおかげと深く感謝しています。2016 年にはフェアプレイ宣言者 100 万人を目指しています。まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用 WEB サイト

ト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードや各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。是非ご活用ください。

▼フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

.....
.....

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約 4,100 の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも
関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を
周りの方にお勧めください。よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1)日本体育協会 HP のトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2)下段の「メールマガジン」をクリック
- 3)「登録・退会」をクリック
- 4)「登録する」をクリック
- 5)登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6)登録確認画面へ(完了)

▼メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。
周りの人にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved